

＜2024年度 柔道整復師学科 シラバス＞

科目名		柔整実技Ⅳ			学年	3	
講師名		阿部 求/上野 天		単位数	1	コマ数	23
授業概要、到達目標							
柔道整復学を活用し、模擬的に整復法や固定法、軟部組織損傷の評価法等の知識、技術を習得し、現場で対応できるよう							
講 義 内 容	1	オリエンテーション。認定実技の流れ説明					
	2	腱板損傷評価法					
	3	上腕二頭筋長頭腱損傷評価法					
	4	ハムストリングス損傷評価法					
	5	大腿四頭筋打撲評価法					
	6	膝関節側副靱帯損傷評価法					
	7	膝関節十字靱帯損傷評価法					
	8	膝関節半月板損傷評価法					
	9	下腿三頭筋損傷評価法					
	10	足関節外側靱帯損傷評価法					
	11	アキレス腱断裂評価法					
	12	アキレス腱断裂 クラメル固定法					
	13	足関節外側靱帯損傷 局所副子固定法					
	14	膝関節内側側副靱帯損傷 Xサポートテープ固定法					
	15	足関節外側靱帯損傷 バスケットウィーブテープ固定法					
	16	足関節外側側副靱帯損傷 フィギュアエイト・ヒールロック固定法					
	17	問診、誘導、評価(腱板損傷、上腕二頭筋長頭腱損傷、ハムストリングス損傷)					
	18	問診、誘導、評価(膝関節半月板・側副靱帯・十字靱帯損傷)					
	19	問診、誘導、評価(大腿四頭筋打撲、下腿三頭筋損傷、足関節外側靱帯損傷)					
	20	問診、誘導、固定(足関節外側側副靱帯損傷固定)					
	21	問診、誘導、固定(アキレス腱断裂固定)					
	22	問診、誘導、固定(膝関節側副靱帯損傷固定)					
	23	評価～固定全般の復習					
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
評価方法							
評価基準	新 G P A 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。					
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
備考	※実務経験のある教員等による授業科目となる。						